

RYOKO FUKASAWA PIANO RECITAL

深沢亮子 ピアノリサイタル

デビュー 55 周年記念 Part2
～ブリュッセル弦楽四重奏団と共に～

- ラヴェル 弦楽四重奏曲 ヘ長調
ドビュッシー 前奏曲集より オンディーヌ、パルクの踊り、ミンストレル (ピアノソロ)
ウェーベルン 弦楽四重奏のための緩徐楽章
ドヴォルザーク ピアノ五重奏曲 イ長調 作品 81



深沢亮子後援会発足30年記念

2009 11/9 月 午後7時開演 **浜離宮朝日ホール**

全自由席 ¥5,000

電子チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999 (Pコード 332-745) ・ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード 38348)

CNプレイガイド www.cnplayguide.com 0570-08-9990 (ampm 各店)

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 ・東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707

マネジメント・お問い合わせ: **Shin'En** 新演奏家協会 03-3561-5012 <http://www.shin-en.jp>

深沢亮子ホームページ <http://www2.bbweb-arena.com/carillon/>

RYOKO FUKASAWA PIANO RECITAL

2009 11/9 日 午後7時開演 浜離宮朝日ホール



| | |
|------------|---|
| ラヴェル | 弦楽四重奏曲 ヘ長調 |
| M. Ravel | Quatuor à cordes en fa majeur |
| ドビュッシー | 前奏曲集より オンディーヌ、パックの踊り、ミンストレル (ピアノソロ) |
| C. Debussy | Préludes ~ Ondine La danse de Puck Minstrels solo piano |
| ウェーベルン | 弦楽四重奏のための緩徐楽章 |
| A. Webern | Langsamer Satz für Streichquartett |
| ドヴォルザーク | ピアノ五重奏曲 イ長調 作品 81 |
| A. Dvořák | Klavierquintett A-dur Op.81 |

深沢亮子(ピアノ) Ryoko Fukasawa, piano

千葉県東金市出身。3歳で両親からピアノの手ほどきを受け、10歳で永井進氏に師事。全日本学生音楽コンクール小学校の部で全国第1位、文部大臣賞を受賞。15歳で日本音楽コンクール首位受賞。高校在学中1956年、ウィーン国立音楽大学に留学、G. ヒンターホーファー教授に師事し、首席で卒業。ウィーン楽友協会プラームス・ザールにおいてデビューリサイタルを開催し、大成功をおさめる。1961年、ジュネーブ国際音楽コンクール2位入賞(1位なし)。以来ムズィークフェライン黄金の間やコンツェルトハウスで度々オーケストラとの協演をはじめ、ヨーロッパ、南米、アジア諸国の主要ホールでリサイタルを開催。室内楽では新・旧ウィーン八重奏団、ウィーン室内アンサンブル、ブリュッセル弦楽四重奏団、シュトイデ弦楽四重奏団等と共演。又、オーケストラとの共演では、L. マタチッチ、G.ヴァント、秋山和慶、朝比奈隆、岩城宏之、小澤征爾、渡邊暁雄他の著名な指揮者の元で、スイス・ロマン管弦楽団、N.O. トーンクンストラ管弦楽団、NHK交響楽団、東京交響楽団を初め国内各オーケストラのソリストとして精力的に活動。更に日本の作品を度々海外へ紹介し、ピアニストとしての国際的な地位を確立。国際コンクールや日本音楽コンクール他の審査員を務めるかたわら、ラジオ、テレビに出演。数多くのレコード、CD、著作、楽譜を出版。後進の指導にもあたり、次代をになう若手ピアニストが育っている。

1992年には国際交流基金より音楽文化使節として天満敦子女史(Vn)とルーマニア、チェコ、スロバキア、ブルガリアへ派遣される。1998年ケルン日本文化会館の招きにより同ホール及びウィーンにてコンサートを行う。2008年9月、デュッセルドルフ、クロアチアのザグレブにて演奏会を行う。国内では毎年東京でリサイタルを開催しているが、特に2003、2004年には、デビュー50周年記念演奏会(東京オペラシティ・コンサートホール)、2009年5月にはデビュー55周年記念演奏会(紀尾井ホール)を開催。また、デビュー50周年記念のCDをナミ・レコードより発売。更に2007年、恵藤久美子(ヴァイオリン)、安藤謙一郎(チェロ)の両氏とCD「深沢亮子と仲間たち」がリリースされ、今秋に第2弾が発売予定。1963年大阪府民劇場奨励賞。1995年千葉県文化功労者。2005年東金市政特別功労者。英国ケンブリッジ国際伝記センター(IBC)により「最も優秀な100人の音楽家」の一人に選ばれる。日本音楽舞踊会議代表理事。

深沢亮子ホームページ <http://www2.bbweb-arena.com/carillon/>

ブリュッセル弦楽四重奏団 The Brussels String Quartet

| | | | |
|-----------------------|----------------------|----------------------|------------------|
| フィリップ・コッシュ (ヴァイオリン) | 志田とみ子 (ヴァイオリン) | イヴ・コルトヴリント (ヴィオラ) | リュック・ドゥエーズ (チェロ) |
| Philippe Koch, violin | Tomiko Shida, violin | Yve Cortvrint, viola | Luc Dewez, cello |



伝統あるベルギーの室内楽団を代表する四重奏団で、近年日本でも注目を浴びている。4人のメンバーの個性や技量を生かしつつ、伸びやかで統一感あるその演奏ぶりは、ここ数年東京公演の度に「音楽の友」、「音楽現代」ほか各誌で好評を博している。フィリップ・コッシュと志田とみ子の二人のヴァイオリニストは、いずれも巨匠アルテュール・グリユミーの高弟。ヴィオラのイヴ・コルトヴリント、チェロのリュック・ドゥエーズの名手2人を加え、4人の息の合ったアンサンブルは、日本でもファンを増やしている。毎回優れたソリストを迎えての五重奏も話題の一つであり、2000年、2001年、2003年、2006年、2007年とピアニストの深沢亮子と共演し好評を得ている。四重奏団の第二ヴァイオリンを務める志田とみ子はこの楽団の主宰者で長野県出身。故鈴木鎮一氏の門下で、18才のときベルギーに渡り、そのまま今日までブリュッセルに住む。巨匠アルテュール・グリユミーに就き、1961年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位(1位なし)を受賞した。この四重奏団を率いての活動のほかブリュッセル音楽院で教授を務め、国立ブリュッセル歌劇場(王立モネ)においてもヴァイオリン奏者として活躍していたが3年前に退職。現在はもっぱら室内楽の演奏者として活動している。

朝日新聞東京本社

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5丁目3番2号
TEL 03-5541-8710 FAX 03-5541-8705

- ・都営大江戸線 築地市場駅A2出口前
- ・東京メトロ日比谷線 築地駅1、2出口徒歩8分
- ・都営浅草線・東京メトロ日比谷線 東銀座駅6出口徒歩7分
- ・新橋駅銀座口から都営バス【市①系統】「中央卸売市場行き」
又は「朝日新聞循環」で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」
- ・駐車場は近くの首都高速汐留地下駐車場をご利用下さい(問合せ ☎ 03-3542-0341)

